

紀南六郡志 草三

紀南六郡志
草
三

紀南六郡志卷第三目錄

庶草類

白茅

青茅

ノカリヤス
トラフス
石芒

菅茅

芒

石芒

山口(草冠に紗)

岩スゲ

書帶草
あふりがや

カラツメ

崖桜

□

瓜ガヤ

キビカヤ

カルカヤ

一種

知風草

カテグサ七絃草

油ガヤ

ヌカヅヤ

鼠尾

狼尾草

狗尾草

ヒヨログサ

馬口(食偏に唐)

カルカヤ

ワレモカウ

看麥娘

鵝觀草

イチゴツナギ

燕麥

夏ノチヤヒ
秋ノチヤヒ
ククサ

地楊梅

結樓草

サハラ

姫岩蘭

大ハクリ

紫背天葵

キスガサ
ウ

狸々袴

狐ノ尾

鴉葱

ムメバチ

ハマムラサキ

サハ黄口(草冠に今)

珊瑚鞭

平地木

カマヤマカウジ

珊瑚

百兩金

口(石偏に朱)砂根

蕨

狗脊

貫衆

キヅノシヲ子

シダ

コシダ

薇

石韋

瓦韋

石長生

孔雀草

金星草

金鷄(奚偏に佳)

萬年青

螺鬚草

佛甲草

圓葉者

虎耳草

チマルメルサウ

石蓮華

瓦松

茅膏菜

濕草類

穀精草

ヌカボシ

コメナ

半邊連

紫雲英

蚊母草

イヌチヨロギ

漆姑草

石胡□(草冠に妥)

毛茛

ヒキノカサ

石龍□(草冠に丙)

夜合草

雀翹

通泉草

水ホウキ

苦苣苔

膠

水膠
毛膠

紫蓼
馬蓼

青蓼

水□(草冠に紅)

翠雲草

問荊

河原トクサ

水トクサ

□(草冠に今)

フナツナ
ヨハイグサ

蘆

葦

荻

ハマヲギ

牛ノシツペ

荻蘆竹

鹹□(草冠に貴)

燈心草

石龍芻

オニヨシ

蔓草類

五味子

フタカツラ
南五味子

葛

水貝カツラ

鹿□(草冠に霍)

兔絲子

白英

□(草冠に稜)□(草冠に契)

蜀羊泉

野木瓜
フトコアケビ

防已

チヤクハイ
木防已

木通

旋花

ハマヒルカホ

牽牛

何首烏

釣藤

葎草

女萎

□(草冠に嬰)□(草冠に奥)

山藤

蛇葡萄

絡石

紫葛

薜荔

蘿摩

扶芳藤

合子草

馬□(瓜偏に交)兒

牛皮消

括□(草冠に婁)

王瓜

紫藤

イソマメ
土用フヂ

白花藤

杠板歸

土團兒

水ホド

南藤

水草類

蓮

睡蓮

サハキトヤウ

ヂムラサキ

ヒルモ
ヒゲモ

蘋

蜈蚣萍

浮萍

菱

□(食偏に昆)鈍菱
野菱

紅菱

雁來紅

慈姑

オモダカ

□(草冠に欠)

莞

三稜

蒲

イヌガマ

イヌソロ井

水葱

薑

□(草冠に?)草

七島

水竹

石菖蒲

虎鬚
金錢

錢蒲

苔類

石濡

石蕊

艾納

松蘿

石松

卷柏

石馬駿

タウゲシバ

モウセンゴケ

水芹

三葉芹

杏菜

サギサウ

ニヅユキノシタ

萍蓬草

烏芋

水才ホバコ

蓴

水鼈

瓜ノ皮

地衣

寓木類

寄生
松寄生

水藻類

聚藻

水綿

紀南六郡志卷第三

紀藩

源伴存輯録

庶草類下

白茅

チ　チガヤ

一名ヂハイ

淡州
都志

カイチク

泉州
孝子

□(山冠に同)谿織志曰□(獸偏に乞)ニ諸種以茅花為_レ被

青茅

カリヤス

太平御覽曰吳錄地理曰桂陽_{チン}縣有青茅可染青通雅曰菁

茅鄭玄曰菁茅有毛刺者本草啓蒙曰本邦染人黃色ヲ染ルニ用ユル草ハ江州長濱ヨリ多ク出ス所ノカリヤスナリ其草ハ伊吹山ニ多ク産ス又伊賀伊勢阿波伊豫播磨ニ多シ葉穗共ニ芒ニ似テ小ナリコレ陸疏廣要ニ載トコロノ青茅ナリ

○ノカリヤス　山野ニ多シカリヤスニ似テ毛アリ

菅茅

カヤ

通雅曰菅大千茅葉似□(草冠に交)艸花白穗旆ニ然而莖円直宣為

帚其莢柔忍宣為□(戸に倂)白芒柔忍木及黃芒八九月花白而輕

和州釋迦嶽麓善鬼村ニテ菅茅ヲ焼テ灰トナシ溪水ヲ濯ギ澄メ其水ヲ鍋ニ入煎スレバ灰色ノ鹽トナル

○一種血ガヤハ莖内紅色也

芒 スゝキ 芒ハ 葉邊如一刃觸レ足即傷通雅二其江右江東者小而無刺但

葉邊ノ毛能割手耳ト云リ

○トラフスゝキ 大和本草曰虎文^フ芒葉班ニメ如^ニ虎皮ノ文^一按トラフハ形

大ニメ菅茅ニ近シ葉芒ヨリ濶大黃色ノ斑アリ節々ヲナス

○間道^{シマスゝキ}芒 芒ニ同メ白色ノ條アリ

○石芒 芒ノ小者山頂ニ多シ一種イトスゝキ葉細ク糸ノ如シ苗花共二小也

山口(草冠に紗) ヤマスゲ 大和本草曰小々^{サゝメ}妻山野ニ生ス賤民ハサゝミノト

云フ蓑ニ結ブ草也按ヤマスゲ數品アリ但ニ山中濕地ニ多シ大者臺^{スゲ}ノ如ニメ葉薄シ春葉間三稜ナル莖ヲ抽高サ三四尺梢二穗ヲナシ桑堪ニ似タル細長一二寸ノ花下垂ス綠色黃蕊又白蕊ヲ吐一種細葉ニメ穗直立スル者アリ一種葉細者アリ通雅曰纂文山莎名蓑衣草謂垂石上如蓑

岩スゲ 一名山スゲ 山中石上ニ多シ葉濶短尺許穗ニ出ス事スケニ似タ

リ葉四時不凋和州舟川庄山人ハ根ヲ連テ蓑衣トナス

一種細葉者アリ深山ニ生ス

書帶草 ヒメスゲ 四時不萎叢生ス葉細長尺許スケニ似タリ秋穗ヲナス

亦スゲニ似テ細小也一種細葉ノ者アリ

大明一統志曰山東□(草冠に來)州府其山山下有草大如薤葉長尺餘堅韌異常
號康生書帶草字典曰三齋記鄭康成山下生草大如□葉長一尺餘土人名康成

書帶草

オツラメ 雜賀崎山中ニ多シ書帶草ニ似テ細ク糸ノ如シ叢生ス

崖櫻 サヽスケ 那賀名草山山中ニアリ

アブラガヤ

□ (萌偏にリ)草 アブラガヤ 一名ヲキリガヤ 備中玉寄 ナキリ 紀州加太 オニガヤ 備中

岡笠 トキハガヤ 筑前福岡 升ワリ 南潤疏 四時不萎芒ニ似テ大ニメ青黒色葉端人ヲヤ

ブル備中笠岡ニテハ此ハヲ取五月粽ヲ包ム

○狐ガヤ アブラガヤニ同メ葉細ク苗小也夏秋莖ヲ抽三稜ニメ葉互生シ高サ三四尺ニ及フ梢ニ穗ヲナスアブラカニ似テ小也

キビカヤ

紀州
若山

一名トマカヤ

阿州

ノボセカヤ

備中
笠岡

シヤシヤミ

淡

アザミ

阿州

阿州ニテ苦ニ作ル形状野黍ニ似テ穗亦野黍ニ似テ細也

カルカヤ

紀州若山
同者多

海士郡有馬山高松ニ多吹上ノ地ニモアリ他所ノ産未見陽

地樹陰ニアリ一根叢生メ高サ二尺許莖円糸ノ如シ葉ヒノヲシニ似テ小ニメ二寸許穗亦相似タリ

知風草

カサシラセ

勢州土師
南都

チキリガヤ

和州人云此草ノ葉縁ノ左右ニテ

結クヽリタル如キ所アリ本ニアレハ七月末ニアレハ八月九月ニ大風ノ吹徴ナリ小風ハクヽリ小ク大風ハ大也按此草二種アリ一種ハ葉ニモアリ一種ハ葉ニ毛ナシ無毛者葉ノ縁ノ左右凹ナル処アリ共ニ高サ一尺許葉カルカヤノ葉ニ似テ短シ八月後穗ヲ出シヒシハノ穗二類メ小ニメオニヨシノ穗ニ似タリ

○一種カゼグサ 所々ニ多シ高サ一尺ニ及フ葉細メ子ヅミノ尾ノ葉ニ似テ細ク軟也細穗ヲナス事キビカヤノ穗ニ似テ細ク枝多シ一種大葉アリ原野ニ多シ葉大ニメ芒スギニ似テ小ニメ手ヲ切ラズ穗モ大ニメ紫ヲ帶形狀小葉ノ者ニ似タリ高サ二三尺共ニ莖二節アリ節ノ大小ヲ以テ風ノ大小ヲ知

チカゼグサ

ル大和本草曰知風草葉モ莖モ茅ニ似タリ野ニアリ倭俗曰其クキニ節アレハ其年大風フク本ニアレハ春フク中ニアレハ夏秋フク末ニアレハ冬大風フクニ節アレハ二度フク節ナケレハ其年大風フカズト云節ノ文ハ人ノ指ノフシニ似タリ

シヨウ

□(人偏に尚)湖樵書曰類林南海有草叢生如蔓土人視其節以占歲之風每一節則一風名曰知風草香祖筆記曰臺灣土番識風草草生無節則一年無颱風一節則颱風一次多節則多次

カテグサ 水邊ニ生ス或ハ春月早く水中ヲヨリ葉ヲ出シ柔ノ水上ニ折レ

浮フ形燕麥葉ニ似テ細ク頭微円ク淡紫ヲ帶春莖ヲ抽葉ノ形状燕麥ノ如シ四五月五六尺ニ至リ穂ヲナシ葦花ニ似テ短クアツマリ生ス

○七絃草 霜草

大和本草

カルカヤ

同上

スチガヤ

同上

シマスヽキ

紀州若山

海士郡次郎丸村ニ自生アリ苗葉カテグサニ同メ軟也白色間道アリ微紅ヲ帶四五月四五尺ニ至リ穂ヲナシ花アリカテグサノ花ニ同大和本草ニ霜草莖葉節穂背葦ノ如ニメ小ナリ宿根ヨリ春苗ヲ生ス葉ニ青白ノタテ筋多クマジリ本末ニ通レリ四五月穂ヲ生ス葦茅類也カルカヤトモ云蘭山大和本草ノ霜ヲ以テ間道芒トス甚非也間道芒ハスヽキニシマアル者也

油力ヤ

大和本草

一名メガヤ

同上

大和本草曰雌ガヤ一名油ガヤ九月有花二有

ニ油臭一按此草山野ニ多シ高サ二三尺葉菅茅ニ似テ柔軟手ヲキラズ葉莖出

三四尺莖紫黑色ヲ帶梢二穗ヲナス野黍穗ニ似テ毛長ク紫ヲ帶油臭アリ其子殻光澤アリ○一種アブラガヤ 原野ニ多シ五月二穗ヲナシカラグサノ穗ニ似テ臭油ノ氣ヲナス高サ尺餘紫知風草ニ似テ濶也

○又カビヤ 形状五月穗出ル油力ヤニ似テ穗細小油ノ氣ナシ

鼠ノ尾

一名チカラグサ 勢州土師

原野ニ多シ葉チカラクサニ似テ穗ノ形状鼠

尾ノ如シ穗長一尺許 ○チカウグサ

一名ミチシバ 紀州田邊熊野村

陽地沙地樹間

ニ多シ叢生ス葉子ヅミノ尾ノ如シ紀府土人葉ヲ採テ草鞋又繩トナス極テ強シ秋天許ノ穗出五月ニ花アル油力ヤノ如クニメ臭氣ナシ霜ヲ被穗紫帶

狼尾草

狗尾草

○ヒヨログサ

紀州若山

一名ウシツバナ 南都

ヒヨノゝグサ

勢州土師

早春麥日及水濕ノ

地ニ多シ高サ六七寸葉互生シ狗尾草葉ニ似テ細ク軟也梢狗尾草穗ニ似細キ穗アリ黄粉ヲ吐ス一種吉田川邊白田二中ニ雜リ生者葉黑色ヲ帶穗ニ白蔬ヲ吐ス

馬

トウ

口 (食偏に唐)

スモトリグサ

紀州

一名ノドキハ

筑後北野

マツマタクサ

勢州土師

アキ

ホコリ 伊都郡 洪田 ホヲトリ 田邊 スマヒトリ 山東 黒岩 秋原野ニ多シ高サ二尺許ニモ至

ル葉節ニ互生シ狗尾草葉ノ如シ穂ハオトコスモトリノ如ク細長也一種葉
ニモアルモノアリ紀州田邊熊野村ニテキツネノハウトリト呼〇オトコス
モトリ 一名チカラグサ 伊都郡 洪田 トヲシミグサ 田邊 熊野村 形状関東ヒエニ似テ小

ニメ草極テ強シ莖直立メ尺許上ニメヒシノ如キ穂アリ凡ヲ関東ヒエニ似
タリ

カスカヤ 一名ガニガヤ 名草郡 岡崎庄 カリヤスグサ 勢州 土師

ワレモカウ

看麥娘 スノアハ 一名ヂムシグサ 遠州此草ニテ地虫ヲ釣ル故名

春麥朧ニ多シ葉二三寸ニメカモジクサノ如シ三月四五寸ノ莖出茅香花ニ
似タル小花アリ

鵝觀草 カモジグサ 一名ヲカタグサ 紀州 若山 カヅラメ 伊都郡 洪田

原野濕地ニ多シ葉看麥娘ニ似テ長クメ尺餘三月莖ヲ抽二三尺梢ニ穂ヲナ
ス看麥娘穂ニ似テ長大也

イチゴツナギ

大和本草曰苺ツナギ兒童以ニ此莖一貫^クニ熟苺^ヲ一按原野ニ多シ叢生ス葉看麥娘葉ニ似テ長ク薄シ五月ニ尺許ノ莖ヲ抽上ニ看麥娘ノ穂ニ似テ瘦長キ穂ヲナス一種秋ノイチゴツナギアリ 苗葉穂共夏ノイチゴツナギニ同メ短小也

燕麥

一名スズムキ

江遠

ヲコトヲシグサ

筑後北野

按□(禾偏に廣)麥ニ種アリ時珍說ニモ一類小麥而大一類大麥而大ト云大麥ニ類ト云ハ天ユ開物ニ□(禾偏に廣)麥獨産陝西一名青裸即大麥隨土而變而皮成青黑色ト云者ニメ即アラムギ也類ニ小麥一ト云ハ鈴鐺麥ニメ麥^{カラスムギ}麥也盛京通志曰□(禾偏に廣)麥麩厚而粗即燕麥也其實下垂如鈴又名鈴鐺麥ト魁人曰移鎮之初此為ニ常□(歹偏に食)一購糜不能^レ盈右價倍ニ今之稻米一十年ノ内始^ニ種糜而鈴鐺麥從^ニ黑兩根來僅以飼^ニ牛馬一聞取作^レ粥斗得粒三升頗香滑多食作^レ氣達呼里貴之以其易飽也燕麥ハ初生大麥ト混シ易シ大麥ハ葉ノ莖ニ附処ニテ髯葉トナリ其莖ヲ廻リ合ス燕麥ハ合セス春莖ヲ抽大麥ト等メ穂ヲ出ス其穂重層シ細枝四方二分レ出每^レ末八九分許ノ苞アリ綠色左右二分レ開テ燕尾ノ如シ内ニ楊黑色ノ蕊アリテ下垂ス盛京通志其實下垂如^レ鈴ト云此也

遠州ニテスズムギト云内ニ麥ニ似テ細キ子アリ 外ニ穀麥ヨリ厚盛京通志ニ麩厚而粗ト云此也内ニ白粉アリ通雅ニ智按野稷似^レ麥采細尾^ニ毛^{アリテ}大ニ干莠^ト一荒季采食^レ之似稗稍長即燕麥也北有種之者五臺僧食云形長于麥

正字通曰燕麥野稷也草似^レ麥亦曰雀麥又曰燕麥似稗稍長有細米山陝有種之者品字箋曰燕麥一名雀麥山陝二多種之其麴似粉洩之絕不柔和味亦遠遜小麥然ル二本草啓蒙二鈴鐺麥ヲ青裸ノ一名スルハ甚誤也○夏ノチャヒキグサアリ

○秋ノチャヒキグサアリ

地楊梅

スヰメノヤリ 一名スヰメノムギメシ

伊勢
齋宮

スヰメノタンゴ

名草郡
岡寄

大和本草曰地楊梅似^レ莎ニシバクサト云其實梅梅ニ似タリ按原野ニ多シ葉長一二寸ワレモカウノ葉ニ似テ白毛アリ春莖抽三四寸稍ニ毬ヲ結ブ粟穂ノ圓ナルカ如シ一種毬小ク數枝ヲ分ツ者アリ

結樓草 シバ

サハラシ 山溪ノ濕地ニ生ス高サ五六寸莖頭ニ花アリ形狀蘭花ノ如ク一

花ニメ紫紅色又淡紅色アリ葉ハ綬草ノ葉ニ似テ一莖ニ一葉アリ其根鬚ニメ黃褐色又白花者アリ

姫岩蘭

葉萎□(蒙偏に生)ノ如キ葉二枚對シ高サ一寸許中心ヨリ一寸許ノ

莖出末ニ蘭花ノ狀ニメ葩細ク茶褐色ノ花四五花附大サ三分許根上麥粒ノ如キ綠色ノ塊アリ又葉ノ者アリ

大ハクリ 夏葉ヲ出シ只一葉形狀岩石ランノ如ニメ柔軟ニメ厚ク小白黒點アリ夏莖ヲ抽尺餘紅紫色□(竹冠に擇)アリテ包メリ梢ニ穗ヲナシ白及花ノスボメル如キ淡紅花ニメ紫ノ點アリ根ニ塊アリ

紫背天葵 イチャクサウ 諸山ニアリ

○キヌガササウ 加茂大寄山其外海士郡海二近キ山中陽地ニ生ズ一莖高サ三五寸葉互生メ黄楊葉ニ似メテ細長微鋸齒アリ背紫色四月梢葉間ヨリ細莖出五辨白花ヲ開小ニメ梅花ノ如シ冬苗不萎

猩々袴 兩森飯盛那賀郡山中ニ多シ苗葉狐ノ尾ニ似タリ紅花ノ者葉紅紫色ヲ帶二三月莖ヲ抽事三四寸梢六辨ノ花ヲ開葩細長ニメ内ニ蕊アリ花謝テ蒂横ニ向フ白花紅花數品アリ地錦抄曰猩々袴ハ地ニシキレンゲノ如ク冬モ枯ズ葉ノ中ヨリ花四五寸ニタチ出二月花下ヘ向テウス黄色ナリ又力キ色ナルモアリ按大和本草ノ猩々袴ハモウセンコケ也

狐ノ尾 山中陽地ニ生ス葉猩々袴ニ似タリ一根七八葉叢生ス五月一莖出五六寸上ニ穗ヲナシ白色ノ花ヲ開其根塊ヲナス○一種細葉狐ノ尾アリ和歌天神山西麓ニ多シ葉細長ニメ香附子葉ニ似タリ夏尺餘ノ莖ヲ抽上ニ穗ヲナシ花

鴉葱 シライトサウ 野上次谷其餘那賀山中ニ多シ形狀猩々袴ニ似テ葉

短葉柄アリテ葉縁編ミタリ五月葉間一尺許ノ莖ヲ抽梢二穗ヲナシ短糸ヲ切タル如キ白花アリ

ムメバチ 大和本草曰小草ニテ花白シ花ノカタチ衣^レ服ノ紋ニツクルムメハチノ如シ在田郡長畦極テ多シ生石山名草兩森ニモアリ

ハママラサキ 一名アカグサ 海士郡本脇浦砂地ニ生ス在田日高海邊ニモ自生アリ宿根苗ヲ生ス高サ一二尺莖葉紫草ニ似テ微毛アリ梢ニ枝ヲ分數花簇リ開本細筒ニメ葩立ツ

分レ辨細クメ縁ニ皺アリ白色淡黄ヲ帶花心淡綠色香氣芬芳ニメ木樺花香ニ似タリ其根箸ノ如シ皮黒褐色肉白色也此草ハ草本水木□(木偏に犀)ノ一種也

澤黄苓 那賀郡名草郡山中濕地ニ生ス秋高サ二尺許莖圓ク葉兩對メ黄苓葉ニ似テ微鋸齒アリ梢葉間ニ秋月黄花ヲ開ク黄苓花ニ似タリ

珊瑚鞭 ミツヒキ 廣群芳譜曰黄山志珊瑚鞭澗中間也叢生葉深緑初秋拔莖長二三尺□(糸編に扁)莖布小花二色段似珊瑚更紅俗名金線海棠又名狀亢鞭

○白花者アリ

平地木 ヤブカウジ 一名オツキサマノダンゴ

伊都郡
渋田

○カマ山カウジアリ

珊瑚 センリヤウ 那賀郡山野ニ自生ス致富全書曰珊瑚葉如山茶而小夏

開白花秋結紅實□(累の旧字?)ニ可愛ニ三月分栽

百両金 カウタチ

□(石偏に朱)砂根 マンリヤウ

蕨 ワラビ 正字通曰蕨山菜初生紫色似鼈脚長如小兒拳連莖可食堀根擣

汁取粉山年以禦飢山家清供曰春采筍蕨之嫩者以湯□(シ偏に龠)之函史曰蕨初生似鼈脚一名□(敝に魚)長如拳連莖可食根可粉甘滑性冷令人脚軟鼈臂也薇禮家猶用之蕨不用

○熊野山人ノ語ニ山中不時ホトロノ三ツ頭ヲ見レハ即其地ヲ可去不燃ハ蟒ニ變化スト云按蕨ニ蛇ノ縁アル事ハ正字通ニ搜神記云□(希とおおざと)鑒鎮舟徒二月出獵軍士有折蕨生食者因成疾後吐一小蛇懸屋前漸乾為蕨乃知蕨不可生啖也ト云

狗脊 通雅曰按黑脊即猪脊一名鳳尾葉似ニ鳳尾竹ノ幹如ニ大猪髮可治遺精[?]者也按イヌカンゾクハ黑狗脊ノ一種也葉蕨ニ似テ細也嫩綠色其根太キ莖並ヒテ脊骨ノ如黑色也

貫衆 通雅曰貫衆似蕨葉開張近小茅薑亦名鳳尾

○イワシボ子 諸山ニアリ

○キジノヲ 所々ニ多シ

一種細葉キジノヲ山東東畑ニ生ス葉キジノヲニ同メ細シ

○一種キジノヲ 在田郡下湯川山中ニアリキジノヲニ似テ小二メ鋸齒細也一根五六葉ヲ生ス

カゲマ カゲマハ蕨葉ニ似テ葉頭卷曲ス

○常盤カゲマ 在田郡山保田山中ニ生ス苗高サ六七寸一根叢生ス葉キジノヲニ似テ岐多四時不萎

シダ 一名アマクサ 和泉河内 オニコ 在田郡畦田

○コシダ 一名コマシダ 泉州紀州名草郡 コマンザウ 山東黒岩 シダ 勢州土師 ゴマンヂコ

名草郡岡寄

山中ニ多シ葉シタニ似テ細ク葉ムカデクサノ如シ

薇 ゼンマイ 函史曰薇似蕨差大再雅薇垂水晶字箋曰薇似蕨差大有芒味苦

石韋 ヒトツバ

○瓦韋 シノブ 言塵集 一名ムメノ木セウブ 筑後北野

石長生 ハコ子クサ 一名スジワタシ 和州油川 在田山保田二多シ

○孔雀草

金星草 甌江逸志曰金星草葉上有金如星根中有黑筋如髮以浸油能黑髮

○金鷄 (奚偏に隹)脚 藥性要略曰金鷄 (奚偏に隹)脚 即金星草之別種也生石上一莖一葉三了形如鷄 (奚偏に隹)脚 故名其氣與辟汗草香相似

萬年青 ヲモト 葛城山中二多□ (イ偏に尚) 湖樵書曰嘉靖戊午室前有萬年青草作實大如梅子色如珊瑚數滿百粒人頗異之

螺□ (厭に甲) 草 マメツダ 一名石マメ 南澗疏

○一種葉頭円岐二三アル者アリ

佛甲草 一名タカノツタ 勢州松坂

○圓葉者 一名イツマデグサ 勢州松坂

虎耳草 ユキノシタ

○チャルメルサウ 在田山中ニ多シ

石蓮華 イワレンゲ 皇明文選曰遊荊塗二山記有草生石上高一尺其花可玩不暇土力人取懸檐間呼為石蓮華和歌浦民屋上ニ多ク生ス葉瓦松ヨリ濶ク百合根ノ如シ綠色ニメ白粉ヲ布ク高高サ七八寸瓦松ノ如キ花アリ

瓦松 ツメレンゲ 守^口志曰崇禎十五年^饑八月食屋上瓦松每斤賣二百錢

後至一千二百無有矣寄園裂背寄曰河南諸寨云云四月洪起召其黨廓黃臉金臯趙癸五以合圍汝人糧^口(米偏に臭)牛馬俱盡堀野草煮瓦松終之以食人

茅膏菜 イシモチ

濕草類

穀精草

ホシクサ 一名タイコバチ

美濃
可兒郡

盛京通志曰星二草葉如韭葉有穗星二故名亦飼馬水澤濕地二叢生ス

○ヌカボシ

コメナ 一名タチビユ

勢州
土師

名草郡新出嶋村ニテ田中ニ生ルコメナヲ採テ

牛二飼フ

半邊蓮

一名ヂシバリ

勢州
土師

紫雲英

レンゲバナ 一名クゝリバナ

勢州
齋宮

ホウゾウバナ

筑後
北野

ミヤコ

伯州
合見郡

水濱
村

原野濕地ニ多白花ノ者アリ

蚊母草

ムシクサ

大和本草曰蟲草其高不過數寸細葉四月結實其小殼中

各有白小蟲為ニ異草山野ニ生ス 按妄ニ録曰仙桃草治傷其草四月在麥田中

蔓生葉綠莖紅實大如椒形如桃中有小虫者即是宣小暑節十五日內取之先期則虫末生後期則虫飛出趁末折採之煤乾研末藏貯磁器一切跌打損傷服一二錢可以起死曰生此亦蟲草ノ一種也五雜組曰塞外又有蚊母草亦生蚊

イヌチヨロギ

一名ジヤルクサ

越前
福井

形狀草石蠶二似テ葉細長造澀アリ

漆姑草

タカノツメ 一名モシノコグサ

伯州合見郡
水濱村

石胡口

(草冠に妥)

ゼニグサ 一名チドメグサ

勢州
土師

○コゲグサ

直川
府中

小草ニメ一ニ寸葉對生メ長サ三分許濶一分本細頭濶鋸

刻アリ葉間一分二不足小毬ヲナス香氣石胡口(草冠に妥)二同

毛茛

タノヲビ

一名ウシゼリ

勢州
土師

ドンガメゼリ

同上

正字通曰茛蘆堂切音即毒草也毛茛一名水茛亦名毛茛春生苗高者尺餘一枝三葉二三尖四五月開小黃花結實如青桑甚葛洪曰菜中有水茛生水茛(解に
火)多食之有大毒

○ヒキノカサ 海士郡原野ニ多シ

石龍□(草冠に内) タゼリ

夜合草 クサ子ム 一名子ブナ 濃州可兒郡 □しょう(人偏に尚) 湖樵書合觀樹注云今水田

中有草名夜合草即子ブニメ中藏經ノ合萌也世俗六月土用中其莖ヲ採青皮ヲ剥釣緡ノウキニ用白色ニメ輕シ土用ヲ過レハ青皮去力タシ鷄(奚に隹)助編曰竿之半繫以荻梗謂之浮子

雀翹 ウナギツカミ 一名アマザケバナ 筑前福岡ニテ此花ノ頃一夜酒ヲ製シ供神ヲオドヘアゲルト云此花ノ形アマザケニ似故名

ビキノツラカキ 筑後北野 マヽコノシリヌグヒ 勢州土師 正字通曰雀翹生藍叢中葉細

黃莖赤有刺四月實外黃中黑五月采陰乾

通泉草 一名ハゼナ 美濃可兒郡

○水ホウヅキ

苦苣苔 イハタバコ 深山水湿ノ石ニ附生ス一根二三葉苦苣ニ似テ厚ク柔軟鋸齒アリ葉末尖リ面深綠色光アリ

蓼 タデ 正字通曰紫赤ニ蓼葉小狹而厚青香ニ蓼葉相似但薄馬水ニ蓼葉

潤大上有黒點俗名黒記草覚二菴筆記曰蓼子是水浸令生芽而食之者多食令人吐水損陽少精心痛寒熱損骨髓二月食之傷賢和生魚食奪陰氣核子痛欲死

○水蓼 ミツタテ 按正字通二水蓼葉潤大上有黒点ト云者海土名草水濕ノ地二生ス秋高サ三四尺二至葉馬蓼二似テ薄短ク半潤二メ末尖葉ノ心左右二黒點アリ馬蓼ヨリ小也其葉微辛○水田ノ傍二生者高サ尺餘葉柳タデ二似テ細シ芳香アリテ味辛辣也

○紫蓼 ムラサキタデ 通雅曰紫蓼以色名

○赤蓼 アカタテ

○青蓼 アオタテ

○毛蓼 ケタデ

○馬蓼 イヌタデ

○水口（草冠に紅） オホケタデ

翠雲草 濕地二生ス積雪草ノ小ナルガ如シ遵生八牋高子書齋説曰遶砌種

以翠芸草令遍茂則青芍鬱然[?]

問荊 スヅナ 一名マツナ

筑後
北野

河原トクサ

○水トクサ 形状木賊ニ似テ細ク柔軟也四五月梢ニ河原トクサノ如キ穂ヲナス

苓

デシバリ 一名ヨバヒ

海士郡

水邊ニ多シ莖銅絲ノ如ク每節アリ葉馬^{ヒシハ}□

(食偏に唐)ニ似タリ秋高サ二三尺梢ニ知風草ニ似テ極テ細ク褐紫ノ穂アリ

○フナヅナ

通雅曰不苞似竹者曰苓陸元恪疏曰苓莖如釵股葉如竹蔓生澤中牛馬喜食之

○ヨヲバイグサ

勢州
土師

水邊ニ多シ池水ノ内ニ蔓ヲ引テ出ル每節根アリ葉ハ

黍葉ニ似テ細小四五月梢ニ黍ニ似タル小穂ヲナス

蘆

太平御覽曰南夷志瀘河在弄棟北令謂之南瀘兩岸葭葦火如臂廣東通志曰又海晏出蘆堪為柱杖

○蒹 スタレヨシ 蘆ニ同メ細小也

○オニヨシ 海士郡鼠島ニ多シ形狀蘆ニ似テ其莖中ニ白アリテ不_レ空秋月ハ葉許ニメ枯ル五月ニ開花チキリカヤノ花ノ如シ花ヲ開時短小ニメ高サ二三尺

荻 オギ

○ハマオキ 荻ニ同メ短ク莖ニ毛アリ

牛ノシツペ 高サ尺許葉蘆ニ似テ小也穂ハ不_レ開一二叢レリ海士郡斥鹵ノ地ニ生ス

荻蘆竹 アセタケ

○一種同形ニメ葉薄ク莖細葉アリ此葉ハ碧蘆ノ品也

鹹□ (草冠に貴) クヅ 細葉潤葉ノ二品アリ

燈心草 金華府名勝志曰又有似龍鬚而□(分に鹿)大者名虎頭草不中為席但

以其穰為燈□(火偏に主)

石龍芻

コヒゲ一名ウシノケ

濃州可兒郡
伯州合見郡

カケ

筑後
北野

コケグサ

勢州
土師

品字箋曰石龍芻生山谷涇地狀如鳧□(草冠に此)苗直上無枝葉莖端開小穗花結細實吳人栽薪以為席通雅曰令見筆慶之龍鬚席則與燈草有別矣一類而尤細也按備後席ニメコヒケ此也廣東新語曰龍鬚出廣寧高明二縣其莖多倒欹似莞而細土人春取其萌於石穴種之成田名曰龍鬚田諺曰山種龍目水種龍鬚龍鬚至芒種而肥二則勿壅二之生蟲退色至秋分而熟二乃與燈艸同收而使金渡村人織之

蔓草類

品字箋曰藤□(草冠に?)也風草木之蔓延者皆謂之藤

五味子

本草從新曰北產紫黑者良南產色紅者枯朝鮮種今傳栽藤蔓ワタカズラニ似タリ又ツル梅モドキニモ似タリ葉一処似簇リツルムメモドキノ葉ニ似テ微細長鋸齒アリ葉柄淡紫色冬葉脱ス三月ノ末稍葉間一寸許ノ莖下垂シ白花ヲ開南五味子花ニ似テ辨細長ニメ皺ニ五出或六出白淡蕊アリ花後南藤子^{フウトウ}ノ如キ穗下垂シ二寸許赤實ヲ着○フタカズラ 日高郡山地山中ニ多シ葉短濶杏葉ニ似テ柔ニ鋸齒アリ末細ク尖厚クメ帶^レ黒

○南五味子

サチカズラ

一名ウシノヨダレノキ

伊都郡
志富田

藤蔓一二丈葉スイセンジ菜ノ葉ニ似テ短ク微コワシ葉背紫色ヲ帶

一種細葉者アリ○水晶カズラ 葉ヒナンニ似テ淡綠色七月葉下垂メ六辨淡黃色ヲ開ビナンノ花ノ如ク三辨大ニメ末不尖三辨小ニメ末圓結實南五味子ニ同メ白色也今花戸白色間道金邊銀邊ノ者アリ

免絲子

子ナシカツラ 夏ノ初宿子土ヨリ生メ長メ他草ニ貼テ登リ他ノ草木ノ液ヲカリテ生長ス

種痘新書曰纏豆藤其藤七八月間附毛豆梗上纏繞紅絲者是採取陰乾以此藥為主按群芳譜云免絲一名赤綱一名野狐絲一名金線草蔓生處二有之黑豆上者入藥更良夏生苗紅黃如金細遍地不能自起得草梗則繞而生觀此則纏豆藤即為免兔可證也

葛

クズ 一名マメカヅラ

伊都郡志富田

ドウクズ

和州大深ニメ不曝葛根ヲドウクズト云

山野ニ自生者皆

衣葛也口（門構えに虫）書ニ葛ヲ土瓜ト云蘭山說ニ本邦山野ニ生スル葛トス非也土瓜ハ食葛也通雅曰食葛ハ非ニ衣葛也今之食葛ハ非レ下為口口（糸偏に谷）者ニ上也或曰廣昌種葛如土瓜廣東通志曰葛根大如レ瓜剖而食レ之甘ク如レ梨白ク如ニ蘿蔔ニ可ニ以為レ粉即食葛ヲ說事甚詳也文選李注補正ニ食葛蔓生與ニ山葛ニ同根特ニ大ニ美ニ於芋也豫章間種之食葛理粗如ニ首烏ニ其大者若ニ小兒形亦名ニ乾葛ニ予在ニ嶺南惠潮之間常食ト云即可證也

鹿

口（草冠に霍）

ベニカハ

一名南京カヅラ

筑後北野

蜀羊泉

ヒョトリジャウゴ

農圃六書曰別有一種雪口（木偏に里）珊瑚蔓生莖有毛秋結子經霜紅如珊瑚

白英

ホロシ

菱口（草冠に契）

一名ガタラクビ

備中
玉島

ガメノハ

筑前
姪ノ濱

マガタラ

伯州合見
郡水濱村

木通

アケビ

片刷記曰ツマ木ニ折ソヘタルヲミテコレハアケビトヤ云

ナトイヒヨリテ按早春三辨淡紫花ヲ開一蒂五七花枝下垂ス末ニ花アリ白花モアリ花辨ニ大小アリ蕊紫色ニメ短ク圓ク物ニ粘ス故ニ名草郡吉礼ニテタチタチボウト云綱目百病痔漏塗點通草花粉ヲ載瘰癧外治惡瘡ニ通草花上粉ヲ載タリ

○ヲトコアケヒ

葉三葉也

○野木瓜 ムベ

海士大福山ニ多シ

防己

アラツヅラ

一名フトウ

和州吉野郡
善鬼村

延喜式及日本總國風土記ニ新蔓

ヲ苜乾セルヲ黒葛ト云即今世ニ用フヂ此也ツヅラフジハ日高郡山地在田郡山保田ヨリ出夏土用ニ採ヲ上トス黒クメ光アリ然レトモ生者一貫目ヲ乾セハ二百目ノ内トナル秋彼岸ニ採ハ生一貫目ヲ乾シ三百目トナル色黄黒ニメ下品也凡テ莖直上メ蔓ヲナシ樹ニヨル者ハ脆ノ用ヲナシ難シ地上

二蔓延メ節々鬚根アル者強クメ用ヲナス深山陰地二生ス蔓丈餘二延新蔓
茶色ノ短毛アリ葉互生シ草綿葉二似テ岐淺ク五六尖面綠色ニメ帶^レ黒背
淡綠色夏葉間二簇リ小黃花ヲ開後實ヲ結テ木防已實二似タリ一種尖岐淺
キ者アリ一種円葉者アリ○チャクバ^クカヅラ 紀府四邊^田原野自生多シ
蔓長ク延テ綠色葉互生ス円ニメ柄葉下ノ心二附荷葉ノ如シ面深綠色夏一
莖葉間ヨリ出其末二寸許莖ヲ分莖端二花アリ

結^テ實^ヲ南五味子ノ實ニ似テ數十簇リ附綠色冬二至リ紅黃色トナリ後紅
色ニ變ス肉甘ク内ニ茶褐色ノ實アリ錦荔枝核ニ似テ小ニメ二分ニ不^レ足

○木防已 キツヅラ 一名ヤマメカヅラ 田邊 熊野村 垣牆ノ邊ニ多シ舊蔓灰白

色斑點アリ新蔓綠色ニメ微茶毛アリ葉互生メ牽牛葉ニ似テ硬夏梢葉間小
黃花開後綠子アリ秋熟テ黒色白粉ヲ着タルガ如ク大サ南天子ヨリ小也

牽牛 アサカホ

天保九年秋官園二千葉牡丹花ノ如キ者開ク其葉草綿葉ノ如シ花ハ白色紅
ノ間道ニ紅點ヲ雜ユ外七瓣ニメ每瓣ニツニ切レアリ末八十四五瓣二分ル
中心同色ノ短瓣數十重リテ蕊ナシ

旋花

ヒルガホ

一名ミヽゴクサ

勢州土師

カラマリハナ

備荒録奥州

ツホクサ

南澗疏

ツ

ボヅル

同上

カツホカツラ

同上

トウゼグサ

同上

備荒録曰花ハ牽牛花ニ似テ淡紅色又白色アリ昼シボマズ故ニヒルガホト云

○ハマヒルガホ

一名ハマイモ

海士郡磯脇

葎草

ムグラ

何首馬

釣藤

一名モクツ

勢州大杉

アクビサウ

熊野

□(山冠に同)谿織志曰啞酒一名釣藤酒以米雜草子為之以火釀成不芻不酢以藤吸取多有以鼻飲者謂由鼻入喉更有異趣□(シ偏に眞)黔紀遊曰釣藤亦出蒼山以之釀酒名晒呂魯酒

山藤 クロガ子カヅラ 一名クロガ子エンジュ 勢州大杉

女萎 ボタンツル

□(草冠に嬰) □(草冠に奥) エビ 一名ムブタウ 伊都郡志富田

紫葛 一名サ子ビ 龍神大熊 加茂山中ニ多

蛇葡萄

絡石 テイカ

○石血アリ

扶芳藤 イタヒ 按苗蔓ヲ扶藤ト云其實ヲ木連ト云證類本草ニ一物タリ
シニ時珍ニ條ニ載故ニ世誤テニ物トセリ按初生ハ小二メ諸樹石ヲ纏フ遵
生八牋ニ桑樹上絡藤ト云

薜荔 セキダカツラ 葉形狀絡石ニ似テ大背ノ紋脉アラハレ茶毛アリ花
ナクメ葉間天仙果ノ如實ヲ結フ頭平ニメ臍アリ秋熟紫黑色味極甘味也奇
効良方ニ石薜荔石上生者佳ト云 按字典楚辭九歌罔タル薜荔為惟註結也
ト云トキハ丹鉛録ノ説ノ如ク總名ニメ奇効良方ノ石薜荔ハ石上ノ扶芳藤
也

蘿 □(草冠に摩) ガヅイモ 一名ホヲタコ 勢州 土師 コガミ 備荒録 奥州

正字通曰□(草冠に瞿)蔓生断之有白汁可啖一名□(草冠に凡)蘭

牛皮消 イケマ

合子草 一名カンスグサ 勢州 土師

正字通曰贊寧曰生池間苗似牽牛有逆刺節有房殼二内二子陰陽和合能徐蟲
毒子狀似龜經霜則黑色如采子滿升其間爆鳴似人兩爪相擊聲

馬 □(瓜偏に交) スヰメウリ

紫藤 フジ 直隸名勝志曰□(シ偏に豕)州城西南二十五里佑聖寺内産紫藤纏
槐樹上一春夏生花採而食之其味甚美唐ニテハ花ヲ採テ菜トスナ救荒本草
ニモ藤花菜枝間開淡紫花味甘菜花煤熟水浸淘淨油鹽調食微□(火偏に卓)過

晒乾燥食尤佳ト云リ本邦ニテ山人嫩葉ヲ採テ食用ニス○一種千葉紫藤アリ花千葉毬ヲナシ紫色濃也一種紅フチアリ吹上ノ地ニ自生ス花淡紅色ニメ紫色ノ者ヨリ微小也凡テ紫藤ノ老蔓枯腐スル者火ニ入レハ香氣アリ

○土用フジ一名チャメキウジ 海士郡 岡田

蔓紫藤ヨリ細ク強シ葉紫藤ニ似テ小也六月葉間穗ヲナシ青黃花ヲ開紫藤ニ似テ小也花後莢ヲ結フ細クメ若參莢ノ如シ賞花集曰土用フジ葉蔓トモニ甚小ナリ夏土用ノ比穗ヲ生シ白花ヲツク

括□ (草冠に婁) 一名ノスイクハ 海士郡 栗村

□ (人偏に尚) 湖樵書曰括□ (草冠に婁) 一名瓜□ (草冠に婁) 円者色黃皮厚而蒂小為雌陽人服長者皮赤蒂粗為雄陰人服按括□ (草冠に婁) 長者皮赤ト云ハウシゴ

瓜也一名ヤマウルメ 熊野 船津 ウリ子 和州洞川 泉州泉南郡塔原 在田日高那賀郡山中二生ス

龍神大熊ニテ根ヲウシメト云實ヲクボンボト云荒年ニハ山人根ヲ堀テウ

リ子 和州舟川 洞川 ト称シ食用トス蔓二三丈ニ延線楞アリテ綠色絲瓜蔓ニ似タ

リ葉互生シ括□ (草冠に婁) 葉ニ似テ五七岐細クサケ絲瓜葉ノ細力如シ心ニ出葉長シ亦短モアリ滑ニメ深綠色柔軟也實ヲ結フ王瓜ノ如シ赤色長サ三

四寸廻り七八寸色王瓜ヨリ浅シ内ニ核アリ括□(草冠に婁)ノ核ニ似テ大ニメ方楞核ノ小ナル如ク色亦似タリ按此草ハ證類本草ノ圖ニ出ル興天府白藥也圖經ニ白藥亦名児モ□(草冠に瓜)□(草冠に婁)ト云リ泉州葛嶺塔原産者結實淡青白色ト云此地ノ人根ヲ堀粉ニ製ス

王瓜 カラスウリ 一名タマツサ

イツマメ 一名ウシマメ

海士郡磯脇

白花藤 トウジカツラ 一名マン子ンカツラ キンカツル

在田郡西嶺黒松海士郡加茂大窪鹿瀬山中和州山上嶽北麓佐古村泉州日根郡淡輪畑奥谷ニ産ス藤蔓丈餘ニ至ル舊蔓灰白色新蔓綠色蔓強ク切ガタシ葉節二両對メ寸許金柑葉ニ似テ軟也又女貞^{ヤブツバキ}葉ニ似テ長シ厚ク帶^レ黒夏葉間一寸許ノ細莖下垂シ末如ニ五辨白花ヲ開金柑花ノ如クニメ厚シ内ニ白蕊アリ花後小圓子ヲ結フ綠色秋冬熟テ大サ小指頭ノ如ク圓ク一莖ニ一實左右ヨリ下垂メ黃色金柑ノ如ク皮ニ光澤アリ後赤色ニ熟シ内ニ紅黃色ノ肉アリ核黒色大サ二分許蕎麥皮ノ如ク微ニ円シ肉味苦クメ氣味女貞ノ如シ葉味亦女貞ノ味ノ如シ本草白花藤集解蘇恭說二葉似ニ女貞一莖葉俱無^レ毛而白花ト云大觀本草二味苦用根ト云綱目二苦寒ト云此也

杠板歸

イシミガハ

一名牛ノ鼻コケ

伊都郡
洪田

ウシノシタヒ

勢州
土師

ウシノ鼻ス

南澗
疏

輿地通志曰河内国錦部郡土産杠板歸石見川村多出能治打撲合類經

驗方曰石見川草一味陰干ニメ香色ニ炒為末一切ノ氣爵血ノ道ノ様ニ婦人ノ煩ハル時用テ妙也ブラクトメシレス病ニ妙アリ服用スルニ殊ノ外氣味ヨキ藥也按正字通ニ挈頭刺藤葉三角生籬邊可沼瘰癧物理小識ニモ載質問本草ニ梨頭刺藤ヲ図ス即イシミガハ也證治大還曰凡大人小兒通身浮腫喘急小便不利自下而上者名陰水自上而下者名陽水俗名河白草濃煎湯浴此草三尖底平葉底及梗皆有芒刺陽水用無刺者陰用水有刺者一二浴後而小便即利浮腫自消神効

土口

(国構えに欒)

兒

ホド

フド日高

一名タチフド

十津川
宇井

備荒録曰土口

ホド

(国構えに欒)

兒味甘採根煮熟食之塩ヲ加ヘ食スレハ害ナシ

○水ホド

形状ホドニ同葉滑ニメ細長末不尖或ハ白斑アリ六月蔓梢葉間

ヨリ短莖出五七花簇リ開黄色イタチサトゲノ花及木黄耆ノ花ニ似タリ

南藤

ソトヲカツラ

啓蒙ニフトヲカツラヲ

以テ土口

(草冠に婁)藤ノ一種ト

ス非也口(草冠に婁)葉ハ冬葉脱メ春新葉ヲ生ス南

フトヲカツラ

藤ハ四時青翠也粵述ニ

□(草冠に婁)葉小而味薄春夏無葉則嚼其根味亦香辛嶺南ハ春ニ至テ葉ヲ脱ト云紀府津守氏
二□(草冠に婁)葉テ栴榔□(虫偏に手)灰ヲ合メ包メル古渡リアリ其葉ヲ開キ見
ルニ馬兜鈴葉ノ如ク左右本張出セリ通雅ニ雲南人食檳榔用□(草冠に婁)子
廣冬用□(草冠に婁)根ト云

水草類

蓮 ハス 蓮ハ七月葉莖ヲ水中ヨリ切レハ其切タル口ヨリ水莖孔ニ入テ
其根腐ル大明一統志ニ江西建昌府白蓮池唐儀鳳間居民曾延種紅蓮數歲變
為白蓮今池塘中ニ紅蓮白蓮ヲ並ヘ栽レハ紅花者自ラ絶テ悉ク白蓮トナル
白花ノ者ハ根紅花者ヨリ細ク色白シ蓮藕ハ紀府ニ冬月上方ヨリ來節土産
ノ者ヨリ長ク太シ煮テ不白色褐色ノ者多紀府近郷ニ八九十月專堀出ス節
上方ノ者ヨリ短ク煮テ柔軟糯ノ如シモチバスト呼色白色也池洩アル池ニ

生者皮ニサビアリ月今粹編曰銀苗菜蕪史六月六日食銀苗菜即藕苗也即延
喜式ニ載波斐是也品宇箋綱目二行根如竹辨ト云□(人偏に尚)湖樵書二藕每
月一節閏月益一節ト云リ秋ニ至リ池中二一ノ藕荷ヲ生ス必ス其根新藕ア
リ新藕ハ□(シ偏に膏)味少シ太平御覽ニ唐史曰其最上者名傷藕式云葉升為
蟲所傷或云故傷其葉以長其根ト云リ帝京景物略曰凡荷藕惡石及水竿惡泥
蒂恋流水花葉惡水而樂日故水太深以流泥太深淺者不能花也四川名勝志二
黎溪驛北有荷花池盛夏香來可以辟瘴湖□(土偏に需)雜記ニ數荷葉鮮翠如盤
似傾露珠而新出ト荷葉ノ形状ヲ説リ

水芹 セリ 覚ニ菴筆記曰芹菜生高田者宜人黒滑地名水芹赤色者害人通
雅曰芹名水英有兩種白赤今陸地亦生芹可啖

○三葉芹

バニ三ツハアリ葉ミツバニ同メ紫赤色

蓴 ヌナヽ 覚ニ菴筆記曰蓴菜多食性滑発痔引疫氣上有水銀故也

睡蓮 ヒツデクサ

杏菜 アサヽ 一名ドチバス 勢州土師

水鼈 スッポンノカヅミ 一名カヘルノエンサ 勢州土師

澤桔梗 那賀郡棕木及且来山溪傍ニ多シ

鷺草 山東ニ自生アリ 交州名勝志曰吳縣有呂牛二一在城南一在城北隅邑人惠沖ノ花圃也世傳金犬定間呂仙翁來遊又有仙翁鶴草相傳仙翁以四月十四日誕來遊果有白鶴四隻從西南來（日偏に甫）時方去自是毎仙翁誕期桐側草荊上（阜偏に走）成鶴形日高遂泯至尚然人傳為呂翁鶴草云按此草サギ草ニ似タレトモ四五月ニ開者トミユサギ草ハ花六七月ニアリ

瓜ノ皮 勢州土師 一名トリノシタ 筑後北野 ウシバリ 伯州合見郡水濱村 子ブカ 在田郡宮原

稻ヲ苽タル跡ニ多シ葉長三四寸濶五六分末尖リ四方ニ反テ瓜ノ皮ヲ四方ニ剥タルニ似タリ形慈ウシバリ口（草冠に姑）ノ初生ノ如シ秋深苗枯伯州合見郡水濱村ニミヅモチト云アリ瓜ノ皮ニ似テ葉細ニノ重リ附一種細葉瓜ノ皮アリ重根ニ産ス夏溝ノ傍ニ苗ヲ生ス瓜ノ皮ニ同メ葉細キ事ヒメスノ如クニメ短シ泉州泉南郡塔原人曰瓜ノ皮ハ根深クメ田ノ草ヲ取ニ指間ヲクヅリテ甚タ去ガタキ草也

ヂムラサキ 紀州名草郡岡寄村泉州塔原村

稻田二生ス稻ノ害ヲナス形状馬齒口（草冠に見）二似テ葉薄ク柔軟莖紫色ヲ帶毎節二小白花ヲ開

水雪ノ下 溝水ノ中冬月ヨリ苗ヲ生シ水上ニ浮フ馬齒口（草冠に見）葉二似テ薄シ

水ヲホバコ 一名伊都郡 茨田カハヂシヤ筑後北野伯州合見郡ニテチノ字清音ニ呼池澤水中ニ生ス 葉車

前葉二似タリ夏莖ヲ抽水上一ニ出三辨淡紅白花ヲ開梅花辨ノ大サ也花後榧ノ如キ實ヲ水中ニテ結フ三稜ニメ綠色秋末苗枯

ヒルモ 一名コバン勢州美濃土師郡水中ニ生メ葉水上ニ浮フ竹葉二似テ厚ク軟也莖ニ互生ス夏葉間穗ヲ出ス

○ヒゲモ 初ハ細ク糸ノ如ク水上ニ浮ミ後葉ヲ生スヒルモノ葉二似テ細長ナリ

萍蓬草 カウホ子 一名カタノタブ越中下村ヤツラ伯州合見郡水濱村

烏芋 クロクワヰ 元和縣志曰水実之屬茨菇即烏茨荔薺即烏茹產水田中有紅黒二種紅者味者味鮮美黒者次之其性可軟銅

○一種ツロ井濃州可兒郡一名ゴヤ伯州相見郡水濱村

蘋

一名カタバミ

勢州土師

正字通曰蘋有二種生湖中者大生田中者小所謂青

蘋也水中破銅錢曰白蘋品字箋曰青蘋似蘋而大

蜈蚣萍

ムカデモ

農政全書曰治壁虱用蕎麥稈作薦可除或蜈蚣萍晒乾燒煙熏之華夷考曰韓詩曰□(シ偏に冗)者為蘋似槐葉而連生則紫

浮萍

言鯖曰品藻水苔名一名品□(草冠に沼)形如品字也正字通曰南越志有品藻苔如品也

菱

ヒシ

□(人偏に尚)

湖樵書曰凡花向日獨菱花背曰而開仇池筆記云菱花開

背曰莢花開向日故□(草冠に欠)熟而菱寒耳紫桃軒雜綴曰兩角而彎者為菱四

角而芒者為□(草冠に支)吾地小青菱被水而生味甘美熟之可代□(歹偏に食)飯其

花鮮白幽香與蘋蓼同時正所謂□(草冠に支)也春秋時吾地入楚屈致所嗜其即

此耶此者東不至魏塘西踰陵門南不及半路北不過平望週遮止百里內耳禮白

嶽記曰九月九日田謝村取餘杭道曲溪淺渚被水皆菱角有深淺紅及慘碧三色

舟行

□スケウ

午可取○鳥菱

クロビシ

青蒲縣志曰菱黑者名鳥菱又有四角而

紅四角而青者尤嫩

○□(食偏に昆) 鮎菱

シロビシ

元和縣志曰菱有紅白二種白者名□(食偏に昆)

○紅菱

アカビシ

元和縣志曰菱紅者曰老紅菱青蒲縣志曰菱四角而紅者

名紅菱

○雁來紅 元和縣志曰注菱又一種特大色紅味鮮美名雁來紅又呼顧姚蕩二係

兩姓合有故名

○野菱 蓮生八牋曰菱之小者俗謂野菱

慈姑 ㄅ井 口（人偏に尚）湖樵書曰茨菰種水中一莖收十二寔歲當有閏則十三寔

○オモダカ 一名ツラワレ南澗疏

口（草冠に欠） ミヅブキ 青蒲縣志曰口（草冠に欠）實俗名鷄頭有粳糯二種

完 フト井 廣東新語曰莞叢生水中其中莖圓美正字通曰翠菅主水中似葱中空名水葱

三稜 正字通曰口（草冠に琴）草荊三稜莖也其莖光滑三稜如椶莖中有白穰剖之織物口（韋偏に刀）如藤

蒲 カマ 一名アカモ越中下村

イヌガマ 旦來越二生ス高サ尺餘葉ガマ葉ニ似テ濶二分許花ハ茅香花ノ如シ

イヌソロギ 海士郡西濱村水邊二生ス葉烏芋葉ニ似テ莖ヲ抽葉互生ス秋穂ヲナシ茅香花ノ如キ花アリ

水葱

○一種方莖ノ水葱アリ名草郡廣西山中湿地二生ス高サ三尺許方莖ニメ上ニ茶褐色葱花ニ似タル花アリ

臺 スゲ 通雅曰臺可為笠夫所須也正字通曰莎草即夫須一名臺

□(草冠に?)草 ミツカト

七鳥 紀川和田川□多シ

水竹

通雅曰水竹葉生水中葉如竹而短小可生食能去□(虫偏に幾)虱

石菖蒲

○虎鬚蒲

淇行紀程

カウライ 吳縣志虎鬚菖蒲俗名細葉菖蒲按正字通二又一種

高四五寸葉如韭ト云此也

○錢蒲

五分石菖

行厨集曰錢蒲葉長寸許者是也

○金錢

ビロウド石菖

遵生八牋曰又如菖蒲之種有六金錢牛頃臺蒲劒脊

虎鬚香苗

苔類

石濡

ゼニゴケ

本草臟器說二石濡生石之陰如屋遊垣衣之類得雨即展故

名石濡早春青翠端開四葉山人名石芥ト云ハセニゴケニメ類腋二苔錢ト云湧幢小品二重錢ト云事物異名錄二圓錢錄錢ト云者也形円ニメ錢ノ如ク綠色ナリ故二事物異名二綠蘚ト云品字箋二員蘚ト云又苔蘚斑點者苔成片者

蘇ト云リ本草綱目ニ石蕊石濡ヲ一物トス非也

石蕊 ハナゴケ 埴行紀程曰犁平云云思南有金星右甚佳陽山茶絶類松蘿而雲南通志曰太華茶出太華山色味但似松蘿而性較寒

艾納 マツノゼニゴケ 通雅曰皮上綠衣名艾納與濱榔艾納皆□合香天祿識餘曰□(木偏に舌)柏春風堂隨筆作松百年即有白衣如粉本草謂之艾納香趙文敏號松雪乃是

松蘿 サカリゴケ

□(門構えに虫)小記曰□(門構えに虫)茶道有以□松蘿法製之昔即試之色香亦具足經旬月則紫亦如故亦崇安版令□黃山僧以松蘿法製建茶堪並駕今年余分得數兩甚珍重之時有武彝松蘿之目秋燈叢話曰北賈其貿易江南喜食猪首兼數人之量有精於岐黃者見之問其僕曰每餐如是也十有餘年矣医者曰病將作凡藥不能治也俟其歸尾北上將以為奇貨久之無恙復細詢前僕曰主人食後必滿飲松蘿數甌医爽然曰此毒惟松蘿可解悵然而返

石松

ヒカゲ 一名狐ノタヌキ

熊野
船津

キツ子ノコロモ

南澗
疏

テングノコモ

同上

卷柏 正字通曰卷柏陸苔也即長生不死艸

生石山冬村山溪二高サ二三尺ニメ枝ヲ分根株大ニメ盤ノ如キ者アリ

石馬口(馬偏に？駿) スギゴケ 雍州府志曰又所種之苔專用龍安寺山之杉苔也

タウゲシバ

モウセンゴケ 地ニ偃テ生ス葉円ク指頭ノ大サニメ虎耳草ノ如ク縁ニ紅色アリテモ羶[？]ノ如莖ニ寸許ヲ抽テ穗アリ
地衣

寓木類

寄生 勇憧小品曰蜀地楊柳多寄生狀類冬青亦似紫紫藤經冬不凋春夏之間

作紫花散落滿地冬月之望雜百樹中榮梢各異[?]

○松寄生 マツノヤドリギ一名鳥ノツギ木 奥熊野
平谷

淡州人云備後鞆ノ浦泉水ニ松海^{マツムメ}ト云者アリ松樹ニ生ス大サ梅子ノ小ナル
ガ如シ備後因島人云鞆ノ泉水ニアル松ムメハ松樹ニ生ル寄生也其實赤小
豆ノ如ク色赤其葉ハ黄楊ニ似テ長シ泉水ニテ此實ヲマツムメト呼塩藏メ
酒ノ下物トス

水藻類

聚藻 フサモ 一名スギモ 筑前
福岡

水綿 アヲミドロ 一名川アヲノリ

守弥日志曰 崇禎十五年
饑饉八月 水綿本不堪食亦強吞之

あとがき

『紀南六郡志 草 三』終わり 『紀南六郡志 木 四』に続く

* ①

□は判読不明の字やワープロソフトにない漢字で □の次の括弧内は□の字を部首や偏と旁つくりで組み合わせれば□の字となる事を示す

②

クメはクテ・ニメはニテ・メはテと読むのであろう

③

後半複写の状態が悪く突然判読不明の字が多出し 読みに間違いがあるかも知れぬ

平成十九(二〇〇七)年十一月二十九日

清水 章博